

## 第 12 回 春日山原始林保全計画検討委員会 議事要旨

日 時：平成 31 年 2 月 22 日（金） 10 時 00 分～12 時 00 分

場 所：奈良春日野国際フォーラム 本館 会議室 1

出席者：委 員 長 吉田 博宣

副 委 員 長 山倉 拓夫

委 員 佐野 純子、杉山 拓次、田中 和博、前迫 ゆり、松井 淳

オブザーバー 文化庁文化財第二課、春日大社、奈良県ビジターズビューロー

事 務 局 奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局奈良公園室

関 係 部 局 《 奈 良 県 》 景 観 ・ 自 然 環 境 課、 森 林 整 備 課、

森林技術センター、奈良公園事務所、

文化財保存課

《 関 係 機 関 》 林 野 庁 奈 良 森 林 管 理 事 務 所、 奈 良 市 景 観 課、

奈良市文化財課

報告 (1) 春日山原始林保全再生事業の進捗状況について

議題 (1) 今後のナラ枯れ対策の方向性について

(2) 後継樹種子採取・苗木育成・修復植栽実施方法の検討について

(3) 植生保護柵による保全方策の方向性について

### 議事要旨

(1) 今後のナラ枯れ対策の方向性について

- ・これまでのナラ枯れ被害調査により、貴重なデータが蓄積されつつあるので、今後は、被害調査を継続するとともに、薬剤樹幹注入を行った個体の追跡調査を確実に実施し、効果検証を行うこと。

(2) 後継樹種子採取・苗木育成・修復植栽実施方法の検討について

- ・修復植栽を実施する際は、現地調査の結果を基に、後継樹ワーキングにおいて委員の意見を聞いた上で、具体的な植栽方法について検討すること。

(3) 植生保護柵による保全方策の方向性について

- ・モニタリング結果から、植生保護柵による保全効果が検証されているので、その面積の拡大については、引き続き適切な方策について検討すること。